TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

神さまの知恵　先走って裁いてはいけません
コリントの信徒への手紙一　4:1－5

2024 年 12 月7&8日
余沢　武　牧師

I.　はじめに

21 日と 22 日はクリスマス礼拝、24 日はクリスマスイブ礼拝です。皆さんの友人やご家族がたくさんいらして一緒にお祝いできることを願っています。

インパクト・ビルディング・ファンドの最新情報です。この建物は築 65 年です。近いうちに新しい建物が必要となります。第 1 期寄付目標額（9 億 6,000 万円）の 22%に達しました。誠実な寄付に感謝いたします。

インフレやその他の財政的要因のため、早く建設するためにどのように調整できるかを検討しています。新しい建物建設のための神さまの知恵と備えを祈り続けましょう。

1 コリントでは、この手紙がコリントの分裂した教会に宛てて書かれたことを学んできました。そこでは、ある人たちはパウロにつくと言い、別な人たちはアポロにつくと言っていました。
パウロは、さまざまな教師、教え、世界や私たちの人生で起こっていることのすべてを、私たちの罪、十字架、聖霊の働きを示して私たちが「神の民」へと成長できるように、神様が与えてくださったと思い出させました。

自分はこの「神の民」の一員ではなく、特定の教師や教えに従う者だと言うのはばかげているでしょう。今日は、どうすればそのような分裂を避けることができるかを見ていきます。まず、祈りましょう。

II.　先走って裁かないでください
(1)　神の秘義の管理者

コリ 4:1-2 を見てみましょう。「1 こういうわけですから、人は私たちをキリストに仕える者、神の秘義の管理者と考えるべきです。 2 この場合、管理者に求められるのは、忠実であることです。」

ここでの「私たち」はパウロとアポロを指します。しかし、牧師、聖書教師、日曜学校の教師、SG リーダー、メンター、親など、キリスト教の信仰を教える人もみな、「キリストに仕える者」です。
彼らはまた、「神の秘義の管理者」でもあります。

「管理者」とは、他の人々の上に立って、家の日常の事柄を指揮する雇用者のことです。「管理者」は、自ら率先して行動することは期待されていませんでした。主人の指示に従って行い、主人に説明することが求められていました。

「神の秘義」とは、かつては隠されていたけれども、イエスの死と復活によって今や明らかになった神のご計画を指しています。それは「神さまの知恵」と同じです。
というのは、次のことです。

私たちが罪人であると認め
イエスが十字架上で私たちの罪に対する罰を受けられたことを受け入れ
私たちを赦し、変えてくださいとイエスに頼むと
私たちの罪は赦され、「イエスの似姿 」に変わるのを主の聖霊が助けてくださる

つまり、すべての「神の秘義の管理者」は、使徒、牧師、聖書教師、日曜学校の教師、SG リーダー、メンター、親、また、パーパス・ドリブンやナイン・マークス、プリセプト、BSF などのすべてのキリスト教の教えを教える教師を含みますが、みなこれを行うための神の管理者なのです。

神が彼らに求めることはただ一つです。それは「忠実」であること、または信頼できるものであることです。

薬剤師のようなものです。患者が処方箋を持って薬剤師のところに行くと、薬剤師は「私はもっといい薬を知っています」と言って別の薬を渡すことはできま

せん。薬剤師に求められることはただ一つ、忠実であること、つまり指示されたことを行うことだけです。

同じように、「クリスチャン教師」も神様からただ一つのこと、すなわち「忠実」であること、つまり指示されたことだけを行うことを期待されています。人々に彼らの罪と十字架と聖霊の助けを指し示すことです。優れた能力、知恵、創造性を持っているかどうかは重要ではありません。

（2） 裁かない＆裁かれない

3-4 節です。「3 あなたがたに裁かれようと、人間の法廷で裁かれようと、私は何ら意に介しません。私は、自分で自分を裁くことすらしません。 4 私には少しもやましいことはありませんが、それで義とされているわけではありません。私を裁く方は主です。」

「裁き」とは、法廷での判決に至るまでの「審査」のことを指します。

「クリスチャン教師」は、彼らに任務を割り当てた者に対してのみ責任があります。彼らは、他の誰かの審査や判定を気にする必要はありません。

数年前、クリスマスや復活祭の週末には、大規模な音楽イベントが行われていました。あまりに多くの人が来るので、時には案内係の人たちが愛情を込めてその人たちに帰ってもらわなければならないこともありました。中には案内係に対して腹を立てる人たちもいました。

私はいつもこの案内係の人たちを尊敬していました。彼らは主に忠実に仕え続けています。忠実に奉仕するということは、すべての人に感謝されるという意味ではありません。というのは、他の人たちは違った信念や期待を持っているからです。だからこそ、私たちは他人からどう見られるかを常に気にしていてはいけないのです。

私たちが「イエスに仕える者」として人々に教える務めを果たすとき、「神の秘義の管理者」として忠実であることに集中しなさいとパウロは言っています。他の人々が私たちに向かって言うこと、または私たちについて言うことを気にしてはいけません。彼らは異なる信念や期待を持っているかもしれないからです。彼らは以下のように言うかもしれません。
彼らは信仰における成熟を、より多くのことを知ること、より多くのことをすることに結びつけるかもしれません。彼らは他の人たちにこうしなさい、ああしなさいと言うかもしれません。他の人に、こういう服装をしなさい、ああいう格好をしなさいと言うかもしれません。
彼らは聖書を神の言葉として見ていないかもしれません。彼らはこういうかもしれません。「聖書に書かれていることすべてに従わなければならないなんて言わないで。中には時代遅れで現代の基準に合わないものもあるんだから」と。

次のような非常に個人的な罪について教えると、気分を害する人がいるかもしれません。
性的不道徳： 男女の婚姻関係以外の性的関係。婚姻前であろうと婚姻外であろうと、異性愛者であろうと同性愛者であろうと。
非聖書的な離婚：姦淫、またはクリスチャンでない配偶者による遺棄ではない離婚。
偶像崇拝、または、先祖代々の祭壇／仏壇で故人の霊を崇拝すること。
人工中絶や乳児の生命を絶つこと。

これらは非常に個人的な問題です。しかし、私たちは神に仕える者ですから、「神の真理」しか教えることができません。私たちが愛情をもってこれらの難しい真理を分かち合うときにのみ、相手は、自分の罪を知り、イエスの十字架による赦しを受け入れ、新しい人生を生きるための助けを受けることができます。

時には、教師が信じていることに同意しても、その教え方や能力、スタイルを批判する人たちもいます。忠実であることに集中して、彼らの裁きについては心配しないようにとパウロは言います。

実際、パウロは自分で自分を裁くことすらしないと言います。「私には少しもやましいことはありませんが、それで義とされているわけではありません。私を裁く方は主です」と言っています。

言い換えれば、他の人がどのように教えているか、あるいは私たち自身がどのように教えているかについての私たちの意見は重要ではないということです。

なぜなら、私たちはみな、イエスに仕える者であり、イエスに対してのみ責任があり、私たちが間違った福音、間違った真理を教えていない限り、イエスだけが私たちの教え方を裁く資格があるからです。

では、なぜ他の牧師や教師、彼らの教えを私たちが裁かないことが重要なのでしょうか？ その理由がここにあります。私たちが教師や教えを裁く瞬間、私たちは教会を分裂させます。

「あの牧師の方が優れている。または、あの先生の方が劣っている」と言った瞬間、教会の分裂が始まります。私たちは彼らを「イエスの僕」として私たちを罪、十字架、そして人生を変えるように導かせるのではなく、教会を分裂させるための「私たちの道具」に変えてしまいます。

（3） 先走って裁いてはいけない

5節です。「5 ですから、主が来られるまでは、何事についても先走って裁いてはいけません。主は、闇に隠れた事を明るみに出し、人の心の謀をも明らかにされます。その時には、神からそれぞれ誉れを受けるでしょう。」

だからこそ、私たちは裁いてはいけません。なぜなら、イエスだけが「人の心の謀をも明らかにする」ことができるからです。
真の裁きは、技術や能力、教えのスタイルに基づくのではなく、誰にも見えないもの、つまり教師たちの「心の謀」だけに基づくからです。

イエスは私たちのミニストリーの背後にある隠された動機、すなわち心の謀だけで判断されます。
私たちが奉仕するのは、それが満足できるからでしょうか。報酬が得られるからでしょうか。人気者になれるからでしょうか。
それとも、罪がいかに人々を欺き、破壊してきたかを目の当たりにし、彼らを真実に導き、十字架による赦しに導き、イエスにある新しい命に導きたいと純粋に願っているからでしょうか。

しかし、どのように「心の謀」が「教えの質」そのものよりも重要となりうるのでしょうか。 その理由はここにあります。私たちが十字架のメッセージを伝えるとき、その人を変えるのは私たちの「巧みな言葉」ではありません。人を変えるのは「神の力」です。

私たちが「十字架のメッセージ」を忠実に伝えるとき、話し手のテクニックによって効果が決まる他の教えとは異なり、福音の効果は聖霊の働きと力に基づいています。そして神は、ご自身の忠実な僕を通して働かれます。

神の民である教会は、羊の大群のようなものです。羊飼いの長はイエスです。使徒、牧師、教師、SGリーダー、メンター、親、そしてパーパス・ドリブン、ナイン・マークス、プリセプト、BSF のような様々な教えを教える教師はみな、格下の羊飼いとしてイエスを手伝っています。

格下の羊飼いたちにはそれぞれ長所と短所があります。しかしイエスは今、彼ら全員を使ってご自分の群れを導いておられます。すべての羊は、格下の羊飼いたちの助けを借りて、イエスに従っているはずです。羊たちは、格下の羊飼いたちを判定し、自分のお気に入りを選んでついて行ってしまってはいけません。どんな教師や教えであってもです。さもなくば、「群れ」は分裂してしまうでしょう。
その代わりに、格下の羊飼いたちの助けを得て、羊たちは自分たちの罪を知り、十字架のもとに行き、聖霊の助けを受けるようになるべきです。そうすれば、彼らは羊飼いの長であるイエスの似姿に成長することができます。
格下の羊飼いたちはそれぞれ、その忠実さに応じて、いつの日かイエスによって裁かれることになります。

このようなわけで、私たちはみな、ほかの「イエスの僕たち」を裁くことを慎むべきなのです。そうすれば分裂することなく、共に神の民、教会として成長することでしょう
もし、あなたがイエスを主であり救い主として受け入れていないなら、今日、ぜひ、十字架の前に来て、イエスにあなたを赦し、新しい人生を与えてくださるよう願い、イエスの群れに加わってください。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 2

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg5024jp

★クラス 301
私の賜物ってなんだろう？
2025年1月19日（日）1pm - 5pm
場所: ランゲホール（B1）
参加条件: クラス 201 まで修了し、TBCメンバーの方
https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu

奉仕者募集中！

1．日本語訳字幕作成（1名募集）
月 1～土曜日 16 時に TBC にて作業します。
Mac でプロプレゼンターというソフトで作成しますが、1，2 回のトレーニングで簡単に覚えられます。作成後、土曜日 19 時の礼拝の日本語訳字幕オペレーターもお願いしています。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

2．週末礼拝メッセージ翻訳（3名募集）
1 か月半に 1 度くらいのペース
自宅での作業になります。
英語のメッセージ原稿を日本語に翻訳します。
スキル：英語と日本語が堪能な方

3．日本語訳レイアウト&印刷（女性1名募集）
月 1～土曜日 16 時に TBC にて作業します。
MS Word を使用してひな形に入れてレイアウトし印刷します。
スキル：MS Word の操作ができる方。